

## 平成 30 年度 事業計画

社会福祉法人聖マリアの家

### 基本方針

- ☆ 子ども一人ひとりをかけがえのない存在として尊び、神さまから与えられた可能性が最大限に開花していくように保育を行う。
- ☆ 園児の考えや行動を柔軟に受け止め、共感し、ともに向上できるように努める。
- ☆ 保護者の国籍、信条、社会的地位によって差別することなく、家庭のよき相談相手となるとともにプライバシーを守り、良き協力者となる。
- ☆ 地域の人々や関係機関とともに子育てを支援し、地域で子どもを育てるより良い環境づくりに努める。

### I 本 部

#### 1. 理事会の開催

開催予定 6月、9月、12月、3月

議 題 事業報告、決算、事業計画、予算、補正予算、その他必要な事項

報告事項 保育事業、特別事業、保護者支援、地域子育て推進、利用者アンケート、その他

#### 2. 評議員選任・解任委員会の開催

開催予定 3月

議 題 評議員の選任

#### 3. 評議員会の開催

開催予定 定時評議員会 6月

議 題 理事及び監事の選任、理事及び監事の報酬の額、理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給基準、計算書類及び財産目録の承認、社会福祉充実計画の承認

#### 4. 本年度の重点目標

- ◎職員の育成。キャリアアップの機会を増やし一人ひとりに合った研修等を推進していく。
- ◎規程を周知、遵守する。

### II 聖マリア保育園

#### 1. 児童の保育

(1) 認可園児数 127名

0歳児 12名 1歳児 22名 2歳児 24名 3歳児 23名 4歳児 23名

5歳児 23名

(2) 本年度月別予定園児数 133名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
1歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
2歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
3歳児	24	24	24	24	24	25	25	25	25	25	25	25	295
4歳児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
5歳児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
計	132	132	132	132	132	133	133	133	133	133	133	133	1591

(3) クラス編成

クラス名	年 齢	園児数	保育士数	備 考
つぼみ	0歳児	12名	4名	
もも	1歳児	22名	4名	
ちゅうりっぷ	2歳児	24名	4名	
ばら	3歳児	25名	3名	
すみれ	4歳児	25名	2名	
ゆり	5歳児	25名	2名	
フリー	0～5歳児		9名	内短時間保育士8名
合計		133名	28名	

(4) 月別保育予定日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日	24	24	26	25	26	23	26	24	23	23	23	26	293

(5) 保育計画

・保育理念・行動指針

「あなたがいて 私がいる」

「優しさをもたらったと感じた人は、その優しさを人に伝えることができます」

ひとを思いやる『心』、思いやる『言葉』、思いやる『行動』は周りのひとを笑顔にし、豊かな心の根っこを育てていきます。

セ セかさず ゆっくりあなたのリズム

イ 意欲を持って 挑戦しよう。

マ 周りに目を向け 探そう「良いところ」

リ リラックスして 深呼吸

ア 「ありがとう。」と笑顔で一日5回

・年間目標

- ① ひとりひとりの子どもの発達に寄り添い、長時間保育を受ける子どもの生活を保障する。
- ② 子どもとの愛着関係を密にし、スキンシップや言葉かけを大切にし、子どもを尊重した保育の実践を行う。
- ③ 保育環境を整え、ヒヤリハット等事故防止に努める。
- ④ 保護者との信頼関係を築き、子どもの成長をともに寄り添い共有していく。

つばみ組 (0 歳児)

- ・安心できる人的・物的環境の下で、聞く・見る・触れるなど感覚の働きが「大」になる。
- ・くつろいだ環境のなかで保育士との親密な関わりを基に、安定した人間関係が芽生える。
- ・衛生的で安全な環境の中で、歩行を目指し、いろいろな運動をする。
- ・ことば以前の様々なサインをしっかりと受け止めることで、活発な自己表現をする。

もも組 (1 歳児)

- ・保育士が 1 人ひとりていねいに、優しく声をかけるなかで安心できる関係ができ、食事・排泄などの活動を通して自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ・自分の欲求や気持ちを行動や言葉で表し、それを受け止めてもらうことで自己主張する力が育つ。
- ・自由に活動するなかで身体を動かし、いろいろなものに触れてあそぶ楽しさを味わう。

ちゅうりっぷ組(2 歳児)

- ・様々な欲求に応えてくれる保育士との安定した関わりのなかで、身の回りのことを自分でしてみようとする。
- ・いろいろな経験を通して、ことばを習得し、ことばで表現しようとする。
- ・他児への関心が芽生え、保育士の仲立ちによって、友だちと関わってあそぶことを楽しむ。

ばら組(3 歳児)

- ・食事・排泄・睡眠・衣服の着脱など、生活に必要な身の回りのことを自分でする。
- ・友だちや保育士と親しみ、ふれあいながら、安心して自分のやりたいあそびに取り組む。
- ・生活のなかで、言葉をつかって表現する意欲を持ち、伝え合う喜びを味わう。
- ・生活やあそびを通し、色々なことを経験するなかで、友だちとの関わりを広げる。

すみれ組(4 歳児)

- ・集団生活のなかで保育士と友だちとの関わりを通して、生活に必要な習慣や態度を身につける。
- ・異年齢児の友だちとの関わりを通し、思いやる心をもつ。また生活のなかで保育園でみんなが使う「共同のもの」と「自分のもの」の違いを知り、大切に使う。
- ・全身を動かしてあそぶ。(飛ぶ・くぐる・投げる・四つんばいになる・登るなど)楽しさを味わう。

ゆり組 (5 歳児)

- ・生活に必要な基本的な生活習慣が、自分の判断ですすめられるようになる。
- ・友だちや保育士との関わりのなかで、自己主張をしたり相手の立場や思いを考えながら行動する。

- ・一人ひとりが自分なりの目標を持ち、それを達成しようとする。
- ・生活のなかで必要な言葉を身につけ、自分の気持ちを表現し、伝え合う。
- ・日常生活に必要な数量・文字・形などへの関心を深める。

(6) 主な行事予定

4月	入園のつどい、卒園生のつどい	10月又は11月	聖マリアふえすていばる
5月	親子ふれあいのつどい	12月	クリスマスお祝い会
7月	年長児宿泊保育 夏祭り花火大会	1月	新年子ども会 もちつき大会
8月	卒園生キャンプ	2月	生活発表会
10月	運動会	3月	卒園生を祝う集い

※その他、子どもの日、七夕、すいかわり、お年寄りとの交流、節分、ひなまつり等四季、伝統行事を含め、園児、地域を対象とする行事などの企画を行う。

※毎月 誕生会を行う。

5歳児ゆり組・・・水泳指導、書道教室 4歳児すみれ組・5歳児ゆり組・・・木琴指導

※保護者懇談会は前期と後期で2回実施、個別相談は希望により随時おこなう。

※保育参観、参加も随時受け入れる。

(7) 保健計画、健康管理

「元気で明るい子」を目指し、一人ひとりの子どもに応じて健康、安全に留意するとともに、全体の子どもの健康を保持し、安全を守れるようにする。また、保護者、地域の育児家庭に保健情報を伝える。

- ・病気の早期発見、感染予防に努める。
- ・身体的、精神的に快く過ごせるようにする。
- ・安全対策を図り、事故防止に努める。
- ・0歳児検診は園医による月2回、1歳児検診は月1回、全園児検診は春と秋の年2回、耳鼻科検診は1歳児クラスから、歯科検診は4,5歳児クラスから年1回行う。

年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科検診	0歳児組(月2回)、1歳児組(月1回)、2歳児以上(年2回) 5歳児組園外保育前(年1回) 新入園児入園前(1回)
耳鼻科検診	1歳児組以上(年1回)
歯科検診	4,5歳児組(年1回)

(8) 防災、防犯計画

- ・防災訓練(火災を含む)は、月1回以上、目的をもって実施総合訓練
- ・水害を想定した避難訓練 年2回
- ・保護者緊急連絡訓練(モバイル訓練)年3回 園児引き取り訓練 年1回

- ・防犯訓練 年5回（サスマタ含む訓練の見直し）
- ・安全チェックの実施・普通救命認定認定証取得維持（全正規職員）
- ・トランシーバー利用を含む園外避難実施訓練
- ・防災器具、備蓄飲食料、備蓄品の総点検

#### （9）食育計画、栄養管理

健康な生活を基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培うために次の活動を行う。

- ・食育計画、カリキュラムに基づき、年齢、月齢に合わせた食育を行う。
- ・旬のものを取り入れ、良質で安全な食材を購入する。
- ・その日の給食の見本を展示する。（夏季の暑い時期は避ける。）
- ・保護者との連携を密にする。
- ・除去食は医師の指示に基づき、保護者と話し合い、個別に対応する。
- ・保育園保護者と地域の育児家庭が求める調理情報を提供する。
- ・保健所への栄養管理報告書を年2回提出する。
- ・給与栄養目標量を年2回見直しする。

#### （10）特別保育

- ・0歳児保育特別事業（0歳児取扱い人員：12名・・・3か月児以上）
- ・延長保育実施（0歳児の受け入れ・・・誕生日より開始）
- ・要支援児保育事業
- ・アレルギー児に対する代替食実施
- ・年末保育実施（12月29日（土））

### 2. 保育園保護者の支援

- ・保育、保健、調理栄養についての相談及び講座 ・保育への参加、見学
- ・保育園入転園相談 ・法人便り年1回、園便り、保健便り、献立表は月1回  
クラス便り年4回発行し、保護者に園の情報を発信し、理解を深めて頂く。
- ・苦情要望解決システムをより明確にし、保護者からの要望、苦情を受け止める。
- ・運営、施設整備、保育、給食、延長保育等アンケートを実施する。

### 3. 地域子育て推進事業

地域支援室に地域子育て推進事業部主任を置き活動を行う。

保育園の職員の専門性（保育士・栄養士・調理士・保健師）を生かした子育て支援を実施する。

- （1） ・保育パートナー事業（地域の子育て家庭支援）
- 育児講座 年12回 育児相談の実施・・・随時
  - 離乳食体験、子育て広場、園庭解放（月～金）
  - ・地域の親子に対する園行事への誘い。

- ・「赤ちゃんの駅」「すくすく広場」を乳児子育て家庭に利用して戴く。
- (2) ・お年寄りとの交流、退所児童と園児との交流
- ・近隣小学生、他保育園児と当園児との交流
- ・小中高大学生までの育児体験とボランティアの受け入れ
- ・小学校低学年受け入れ・・・早朝学童、学童保育後の学童受け入れ。
- ・育児困難児および家庭への支援・・・相談及び公共機関とのコーディネート
- ・インターネットによる広報活動
- ・保育士養成校学生、看護師養成校学生、調理専門学校学生、学校教諭等の実習受け入れ実習指導を計画的に行う。
- ・地域の中で必要な支援は何かをリサーチし検討していく。

#### 4. 職 員

##### (1) 職員数

園長 1名、副園長 1名、保育部主任保育士 1名、保育部副主任保育士 1名、地域子育て推進事業部主任 1名、給食部主任 1名、保育士 19名、短時間保育士 8名、保健部主任 1名、調理員 5名、短時間調理員 2名、事務職員 1名、短時間事務員 2名、園医 1名、非常勤講師 4名（うち調理員 2名産休・育休） 地域子育て推進事業保育助手 2名

##### (2) 健康管理

- ・職員の健康診断は年 1 回以上、細菌検査は月 1 回以上行う。

##### (3) 研修計画

- ・保育指針を研究し、内容の理解と保育計画の改訂に通年で取り組む。
- ・全職員に対する園内研修を充実させ、組織人としての人格及び能力の向上を図る。
- ・東京都福祉人材センター、全国社会福祉協議会、東京都社会福祉協議会、板橋区保育研修及び日本カトリック保育施設協会研修等を柱に、全員が自主的に各々の研修課題を見つけ、研修に参加し研修報告会を行う。
- ・救命技能認定資格を全員が取れるようにする。

～ 園内研修年間予定表～

番号	月	内 容	講 師	対 象
1	4 月	リズム体操・聖歌	副園長	新人・職員
2		就業規則	園長	新人
3		防災・防犯について	副園長	新人
4		社会人としての基本	保育部主任	新人
5	5 月	オンブ研修（さらし含む）	保育士	職員
6		乳児保育について・離乳食含	副園長・保育部副主任	職員
7		幼児保育について	副園長・保育部副主任	職員

8	6月	アレルギー除去について	給食部主任	職員
9		怪我・感染症と保育園の対応	保健部主任	職員
10	7月	要支援児研修	未定	
11		盆踊り講習会	エイトの会	職員
12		園外研修発表	研修受講者3名	職員
13	8月	園外研修発表	研修受講者3名	職員
14	9月	保育課程見直し	副園長司会	職員中堅・クラスリーダー
15	10月	カリキュラム見直し	保育部主任司会	職員
16	11月	保育環境について	保育部副主任	職員
17	12月	地域のニーズを知る。	地域子育て推進 事業部主任司会	職員
18	1月	園外研修発表	研修受講者3名	職員
19	2月	園内研修	園長・副園長	職員
20	3月	園内研修	園長・副園長	職員

#### (4) 退職金、福利厚生

- ・福祉医療機構退職共済制度に加入する。
- ・東京都社会福祉従事者共済会に加入する。（常勤職員採用後継続5年を超える勤務者で希望する職員）
- ・日本保育協会保育共済に加入する。（常勤職員雇用後1年を超える勤務者で希望する職員）
- ・福利厚生センターに加入する。

#### 5. 会議

- ・運営会議、全体会議、主任会議、部門会議（献立会議、乳児、幼児カリキュラム会議、支援室会議等）月1回以上行う。
- ・業務評価及び改善会議を年1回以上行う。

#### 6. 施設整備及び管理

- ・調理室環境の見直しを行い、改善する。
- ・建物の定期検査を行う。
- ・建物非常灯の見直しを行い、整備する。
- ・園舎の耐震診断を行い、その結果について必要な対策を講じる。
- ・中期計画について板橋区及び地元町会等と情報交換をより密にし、地域ニーズを把握し、新しいニーズへの対応をする。
- ・長期計画として、経営基盤の確立のため、施設数の拡張または事業内容の発展を考えていく。

## 7. その他

- ・日本福祉サービス評価機構による第三者評価アンケートを行い、その結果を公表する。

## Ⅲ 社会福祉充実計画（社会福祉法人 聖マリアの家 聖マリア塾子ども食事会）

### 1、方針

平成 29 年度の決算終了後に新たな社会福祉充実残高を算定する。

行政からの通知に基づき、算定された社会福祉充実残高の応じて、社会福祉充実計画の変更等を行う。

### 2、計画

毎週 1 回開催する。

3 階給湯室を使用して参加者の食事を調理する。

参加費は無料とする。

### 3、施設整備等

3 階給湯室のガス器具及びガス管の増設工事

大型冷凍冷蔵庫の購入・設置